

成熟期未婚女性の母性意識に關与する因子 ——私立看護大生へのアンケート調査の多変量解析——

聖路加国際病院

松岡 恵

東海大学医療技術短期大学

新道 幸恵

札幌医科大学衛生短期大学部

朝比奈嫩葉

千葉大学文学部

柳井 晴夫

聖路加看護大学

高木 広文

成熟期未婚女性の母性意識に関与する因子

——私立看護大生へのアンケート調査の多変量解析——

聖路加国際病院

松岡 恵

東海大学医療技術短期大学

新道 幸恵

札幌医科大学衛生短期大学部

朝比奈嫩葉

千葉大学文学部

柳井 晴夫

聖路加看護大学

高木 広文

I. はじめに

母性愛や母性意識に関する研究は平井をはじめとして多い。^{1) 2) 3) 4) 5)} 平井³⁾と上田⁴⁾は母性意識についてほぼ同一の定義づけをしており、女性または母親が、子供に対して持つ特殊な意識と述べている。一方、母性意識の形成について両者は多少見解を異にする。平井は³⁾「母親自身が乳幼児期から周囲の家族と暖かな関係を体験する中で形成されてくる。」と述べ、上田⁴⁾は「妊娠、出産の経験を経て、さらに子どもを養育しながら時間をかけて形成され、発達していくものである。」と述べている。

そこで、我々は、母性の発達段階の一時期にあって、これから母親となる可能性のある成熟期の未婚女性の母性意識に関与している因子を調べることを目的とした研究を行った。

II. 研究対象と分析方法

東京都内の私立看護大学の1,2年生102名を対象とした。方法はアンケート調査とした。(表)分析方法には主因子分析のバリマックス回転したものを用いた。主要な計算はHLTAC-M280Hを用いた。

調査に先立って、我々は母性意識とは「女性が子供に対して持つ特殊な意識である。」と上田と同様に規定した上でアンケート項目を選択した。すなわち、子供への関心、現在の生活への満足度、自己観、

母親との関わりを主とした生育歴ならびに母親観、伝統的な女性役割の受容度、看護学への興味、異性との交際、母性に関する知識、高校時代に好んだ学科目という内容である。

因子分析法に関する用語は柳井ら⁷⁾の定義によった。因子分析法とは、「さまざまな事象間の相互関連の強さを分析し、それらの事象の背後に潜む共通の因子(要因)をさぐる統計的手法」である。因子負荷量とは「各項目の反応得点と仮想される潜在因子得点との相関係数に相当するもの」である。因子得点とは「抽出された各因子のもつ傾向を被験者の個人個人がどの程度強く有しているかを示す」ものである。

III. 結 果

1. 対象特性

調査対象102名でのアンケート回収率は100%であった。対象特性として「中学高校時代の共学の有無」、「母親の現在の職業の有無」「本人の兄弟姉妹の有無」について調べた。その結果は表1,2に示した。共学経験のある者が多く、中学時代で81.4%、高校時代で60.8%の者が共学経験を有していた。職業を持つ母親が持たない母親より12.8%多かった。兄弟姉妹は各々いない者の方がいる者より多かった。いる者の内では兄弟より姉妹のいる者が多かった。

表

看 大 生 へ の 意 識 調 査

I. ()の中に適切な数字を記入し、()のないものは該当するものを○で囲んで下さい。

- ① 年齢()才, 学年()年, 出身県()
 ② 共学の有無: 中学時代(共学, 女子校): 高校時代…(共学, 女子校)
 ③ 父親の職業…¹農業 ²漁業 ³自営業 ⁴勤務者(管理職), ⁵勤務者(事務), ⁶勤務者(現場), ⁷その他()
 ④ 母親の職業(あり, なし)
 → "あり"の方だけ答えて下さい。()才から()才まで, (パート, 常勤)
 ⑤ 家族構成(父, 母, 兄, 姉, 弟, 妹, 祖父, 祖母, その他())
 ⑥ あなたの現在の住居(下宿, アパート又はマンション, 自宅)

II. 次にいくつかの質問があります。あてはまるものの()の中に○を記入して下さい。できるだけ"はい"か"いい

え"に○を記入し, どうしても答えられない場合のみ"どちらでもない" "わからない"に記入して下さい。

この中には何も記入しないで下さい。

- 1) 子どもが好きである _____ はい(), どちらでもない(), いいえ()
 2) 子どもの世話をしたことがある(だっこする, ミルクをのませる, おむつを替えるのいずれでも可)。 _____ はい(), どちらでもない(), いいえ()
 3) 母親のそうじを手伝ったことが _____ よくある(), ときどき (), ない()
 4) ボイフレンドがいる。 _____ はい(), どちらでもない(), いいえ()
 5) 自分はあきっぱい性格だと思う。 _____ はい(), どちらでもない(), いいえ()
 6) 自分はどちらかといえば _____ お母さん子である(), お父さん子である()
 7) 料理を作るのが好きである。 _____ はい(), どちらでもない(), いいえ()
 8) 看護学科に入ってよかったと思う。 _____ はい(), どちらでもない(), いいえ()
 9) 一人っ子である。 _____ はい(), いいえ()
 10) 母親の炊事を手伝ったことが _____ よくある(), ときどき (), ない()
 11) 現在気楽に相談にのってくれる友人がいる。 _____ はい(), どちらでもない(), いいえ()
 12) 女に生まれて損をしたことがある。 _____ はい(), どちらでもない(), いいえ()
 13) 自分は忍耐づよい方だと思う。 _____ はい(), どちらでもない(), いいえ()
 14) おしゃれに充分時間をかけている。 _____ はい(), どちらでもない(), いいえ()
 15) 出産, 育児についての知識がある。 _____ はい(), どちらでもない(), いいえ()
 16) 友だちに比べるとこわいもの知らずの方である。 _____ はい(), どちらでもない(), いいえ()
 17) 現在, 勉強以外に夢中になっているものがある。 _____ はい(), どちらでもない(), いいえ()
 18) 女らしくしなさいと言われて育った。 _____ はい(), どちらでもない(), いいえ()
 19) 卒業後, 必ず看護関係の仕事につく。 _____ はい(), どちらでもない(), いいえ()
 20) 将来, 子どもが欲しい。 _____ はい(), どちらでもない(), いいえ()
 21) 小中学校卒業までの間に母親が不在がちであった。 _____ よく(), ときどき (), いいえ()
 22) 中学時代以降, 母親が不在がちであった。 _____ よく(), ときどき (), いいえ()
 23) 初潮の前に初潮について _____ 知っていた(), 知らなかった()
 24) そうじが好きである。 _____ はい(), どちらでもない(), いいえ()
 25) いつごろ看護学科に入ることに決めましたか。 _____ 中学時代(), 高校1,2年 (), 高3以降()
 26) 自分以外は男だけのきょうだいである。 _____ はい(), いいえ()
 27) 自分以外は女だけのきょうだいである。 _____ はい(), いいえ()
 28) 自分以外に男と女のきょうだいがいる。 _____ はい(), いいえ()

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28

㊦ の中には記入しないで下さい。

- 29) 快楽を追い求める方である。—— はい(), どちらでもない(), いいえ()
- 30) 自分の家庭は楽しい場所だと思う。—— はい(), どちらでもない(), いいえ()
- 31) 一生仕事を続けたいと思う。—— はい(), どちらでもない(), いいえ()
- 32) 他人の意見に左右されやすい方である。—— はい(), どちらでもない(), いいえ()
- 33) 子ども(弟、妹以外)と遊んだことがある。—— はい(), どちらでもない(), いいえ()
- 34) 看護学科に入ることを希望していた。—— はい(), どちらでもない(), いいえ()
- 35) 恋人がいる。—— はい(), どちらでもない(), いいえ()
- 36) 現在の自分に満足している。—— はい(), どちらでもない(), いいえ()
- 37) 避妊についての知識がある。—— はい(), どちらでもない(), いいえ()
- 38) 現在あなたの勉強していることがおもしろい。—— はい(), どちらでもない(), いいえ()
- 39) 女に生まれてよかったと思う。—— はい(), どちらでもない(), いいえ()
- 40) みんなにチャホヤされるのが好きである。—— はい(), どちらでもない(), いいえ()
- 41) 将来、母親のような母親になりたい。—— はい(), どちらでもない(), いいえ()
- 42) 生活に不平や不満があってもがまんしてすごす—— はい(), どちらでもない(), いいえ()
- 43) 助産コースをとりたいと思う。—— はい(), どちらでもない(), いいえ()
- 44) 将来結婚したいと思う。—— はい(), どちらでもない(), いいえ()
- 45) 危険や困難にぶつかると尻ごみをする。—— はい(), どちらでもない(), いいえ()
- 46) 自分を女らしいと思う。—— はい(), どちらでもない(), いいえ()
- 47) 自分の母親が好きである。—— はい(), どちらでもない(), いいえ()
- 48) 初潮のとき —— うれしかった(), どうも思わなかった(), いやだった()
- 49) 幼児期、女の子よりも男の子とよく遊んだ方である。—— はい(), どちらでもない(), いいえ()

29
30
31
32
33
34
35
36
37
38
39
40
41
42
43
44
45
46
47
48
49

III. 高校で学んだ科目のうち好きな科目に○, きらいな科目に×, どちらとも言えない科目に△を ㊦ の中には記入しないで下さい。

つけて下さい。

- 50) 1 数 学 ()
- 51) 2 物 理 ()
- 52) 3 化 学 ()
- 53) 4 生 物 ()
- 54) 5 地 学 ()
- 55) 6 地 理 ()
- 56) 7 倫理社会 ()
- 57) 8 政治経済 ()
- 58) 9 世界史 ()
- 59) 10 日本史 ()
- 60) 11 現代国語 ()
- 61) 12 古 文 ()
- 62) 13 英 語 ()

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13

ご協力ありがとうございました。

表1 対象特性 その1

()内は%			
	共 学	女子校	全 体
中 学 校	83(81.4)	19(18.6)	102(100)
高 校	62(60.8)	40(39.2)	102(100)

表2 対象特性 その2

()内は%			
	有	無	全 体
母 親 の 職 業	57(56.4)	44(43.6)	101(100)
兄	19(18.4)	84(81.6)	103(100)
姉	22(21.4)	81(78.6)	103(100)
弟	37(35.9)	66(64.1)	103(100)
妹	35(34.0)	68(66.0)	103(100)

すなわち対象者は一人っ子または第1子である者が大部分である。

2. 因子分析

バリマックス法による因子分析の結果、表3に示した8因子が抽出された。各因子毎に因子負荷量0.30以上の値を持つアンケート項目をその大きさの順に配列して図1～8に示した。

第1因子は、将来子供が欲しいと思う等、子供に関係する項目が上位を占め、それらの因子負荷量は0.57～0.65であった。その他、0.30以上の項目として伝統的女性役割の受容、看護学への興味、母性に関する知識、がまん強い性格という自己観が含まれていた。(図1)

図1. 第1因子における因子負荷量0.30以上の項目

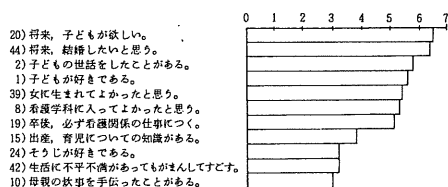
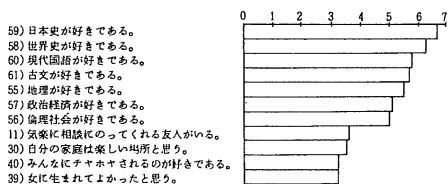


図2. 第2因子における因子負荷量0.30以上の項目



第2因子は、文科系の学科科目への興味が上位を占めていた。因子負荷量はそれほど大きくないが、その他に現在の生活への満足、伝統的女性役割の受容、自己顕示的性格等も含まれていた。(図2)

第3因子は、理科系の学科科目への興味が上位を占める。その他には看護学への興味、一生仕事を続けたいという希望、満足ある自己観、自分の母親像の受容等が含まれる。(図3)

図3. 第3因子における因子負荷量0.30以上の項目

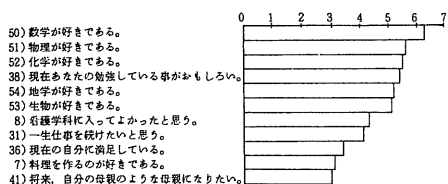
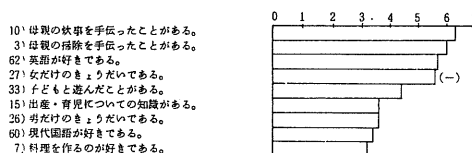


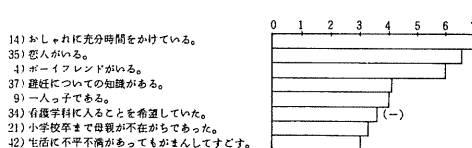
図4. 第4因子における因子負荷量0.30以上の項目



第4因子は、伝統的女性役割を好む傾向が上位を占める。男だけの兄弟で育ち子供と遊んだことがあるという生育歴、母性に関する知識、語学系科目への興味等も因子負荷量が大きかった。(図4)

第5因子は、おしゃれに時間をかける、異性と交際中であるという項目が上位を占めていた。また、小学校卒業まで母親が不在がちで一人っ子という生育歴、わがままという自己観、避妊に関する知識も含まれる。(図5)

図5. 第5因子における因子負荷量0.30以上の項目



第6因子は、母親が不在がちでなかった生育歴、がまん強く冒険的な自己観、現在の生活や自分の家庭への満足、伝統的女性役割の受容を示す項目が含まれていた。(図6)

第7因子で因子負荷量の大きい項目は、男っぽく

表 3 因子負荷量一覧

	FACTOR1	FACTOR2	FACTOR3	FACTOR4	FACTOR5	FACTOR6	FACTOR7	FACTOR8
VAR01	0.56850	-0.05985	0.10485	0.11447	0.02909	0.08506	0.31222	0.00505
VAR02	0.58731	-0.00924	0.09214	0.21068	0.08461	-0.10513	0.09126	0.03786
VAR03	0.26063	-0.01863	0.14549	0.60758	0.16045	-0.11102	-0.05220	-0.01012
VAR04	0.10125	0.09073	0.16222	0.21655	0.60210	-0.03301	0.09642	0.13840
VAR05	0.06682	0.02878	-0.29578	0.03205	-0.04493	-0.44705	0.48104	-0.03677
VAR06	0.04535	0.16589	-0.19415	-0.11648	0.17101	0.18911	-0.48514	0.21982
VAR07	0.06700	0.04574	0.31898	0.32308	0.19474	0.22787	0.09600	-0.28366
VAR08	0.53834	0.02854	0.43630	0.24388	-0.29112	0.02164	-0.01042	-0.09952
VAR09	-0.29640	0.02991	0.20206	0.20062	0.40498	-0.16754	-0.13141	0.20041
VAR10	0.30161	-0.07244	0.13797	0.63376	0.19734	-0.00530	-0.06696	-0.08446
VAR11	0.13813	0.36587	-0.12457	-0.04906	0.01560	0.28085	0.14169	0.00157
VAR12	-0.27165	-0.12980	-0.02687	-0.04187	0.01084	0.09913	0.39970	0.20604
VAR13	-0.00599	-0.02243	0.20326	0.20159	0.00131	0.58726	-0.15468	0.00328
VAR14	0.06315	0.08723	-0.19613	0.02899	0.72730	0.06800	0.04176	0.07285
VAR15	0.38337	-0.13549	-0.06000	0.17573	0.23063	0.17276	0.24208	0.00687
VAR16	-0.03773	-0.29617	0.03013	0.36873	0.17950	0.33366	0.23456	-0.24958
VAR17	-0.11032	0.12384	0.01215	0.11459	0.08620	0.35044	0.28415	0.05170
VAR18	-0.03066	-0.04434	0.02398	0.06719	-0.10192	0.13879	0.60233	0.07237
VAR19	0.51135	0.23476	0.28824	-0.04222	0.09611	-0.14710	-0.14319	0.08001
VAR20	0.65246	0.08816	-0.17154	0.02484	0.01451	0.09207	-0.24028	0.13924
VAR21	0.05297	-0.06137	0.26786	0.20148	0.33100	-0.63294	0.02441	-0.00160
VAR22	-0.04847	-0.04037	0.26867	0.14334	0.26154	-0.68280	0.11722	-0.04992
VAR23	0.07394	-0.02973	-0.09169	-0.27622	-0.00273	-0.13869	0.30714	-0.00480
VAR24	0.32525	0.16854	0.02522	0.24985	0.13736	0.37627	0.03483	-0.05639
VAR25	0.00706	0.13164	-0.08568	0.15269	-0.28590	0.17506	-0.15203	-0.30124
VAR26	-0.02533	0.02679	-0.05962	0.36798	-0.23251	-0.03032	0.04637	0.09712
VAR27	0.14357	-0.03347	0.22538	-0.56478	0.14557	0.03631	-0.17425	-0.24462
VAR28	0.05791	0.06888	-0.09766	-0.20227	-0.02168	0.09962	-0.03999	-0.53949
VAR29	-0.03459	-0.03887	0.08269	-0.02897	0.26958	0.04458	0.48942	-0.15796
VAR30	0.28972	0.35340	0.05724	-0.08624	0.03127	0.30206	0.00287	0.09139
VAR31	0.04140	0.06566	0.41835	0.12643	0.16929	-0.09097	0.11807	-0.19436
VAR32	0.18971	0.15879	-0.00349	-0.06448	0.09988	0.08815	-0.06600	0.54200
VAR33	0.25684	0.06244	0.16031	0.49932	0.01220	-0.02416	0.04637	0.33188
VAR34	0.29143	-0.03239	0.20500	0.24869	-0.36066	-0.13856	0.08422	0.04193
VAR35	0.03933	0.07102	0.04461	-0.01171	0.66467	-0.24108	-0.07660	-0.19910
VAR36	0.03544	0.18523	0.34272	0.05339	0.15453	0.17097	-0.03866	-0.48521
VAR37	-0.00685	-0.03314	0.10909	0.17364	0.41473	-0.05998	0.17526	0.36856
VAR38	0.26207	0.10047	0.54504	0.16182	-0.07089	0.14315	-0.14466	-0.02696
VAR39	0.54727	0.32643	0.11628	-0.00637	-0.17415	-0.11185	-0.21808	-0.02562
VAR40	0.09553	0.32653	0.00342	-0.21088	0.14639	0.06958	0.34237	0.25928
VAR41	0.14340	0.23530	0.30238	0.10003	-0.11947	0.01237	-0.09401	0.05375
VAR42	0.32347	0.00204	0.02459	-0.03297	-0.30273	-0.19174	-0.22844	-0.01982
VAR43	0.01032	-0.09670	-0.09973	0.03238	-0.17585	0.10174	-0.28461	0.27388
VAR44	0.64957	0.09499	-0.25351	-0.15097	-0.00196	0.20932	-0.15111	0.13151
VAR45	-0.15775	0.12729	-0.05525	-0.07259	-0.03194	-0.45819	-0.30964	0.19838
VAR46	0.19280	0.09302	0.05158	-0.08885	0.18677	0.12638	-0.02751	-0.06963
VAR47	-0.07854	0.25528	-0.01908	0.15267	-0.20526	0.22462	-0.15241	0.50012
VAR48	0.16155	-0.07185	0.12599	0.07594	0.17999	0.00042	-0.11977	0.40828
VAR49	-0.04360	0.14235	0.13076	0.08744	0.02159	-0.06233	0.53501	0.07912
VAR50	-0.12995	-0.17772	0.63031	-0.24888	0.09789	0.22552	-0.06454	0.18924
VAR51	-0.03925	-0.03891	0.56845	-0.05901	-0.05021	-0.05225	0.18906	0.00641
VAR52	0.11275	-0.29549	0.55271	-0.05296	-0.15614	-0.10651	0.03826	0.13541
VAR53	0.00757	0.16235	0.51685	0.22875	0.11402	0.02898	-0.01718	-0.03895
VAR54	-0.06267	0.13988	0.52271	-0.06095	0.12990	-0.14979	0.22727	0.10297
VAR55	0.05123	0.55998	0.09644	-0.13933	0.13920	0.12796	0.19984	-0.11434
VAR56	0.07017	0.50997	0.15547	0.00293	0.12324	0.08059	-0.11237	-0.20460
VAR57	0.10638	0.51811	0.25236	-0.14151	0.03893	-0.14128	0.18335	-0.00049
VAR58	-0.06099	0.63128	0.04475	0.01703	0.02743	-0.10570	-0.06325	-0.10531
VAR59	0.10600	0.67240	-0.04865	0.08151	-0.15167	-0.04850	-0.16740	0.11066
VAR60	0.01248	0.58336	-0.09822	0.34018	0.04500	-0.00653	0.04463	0.02397
VAR61	-0.00036	0.57288	-0.06680	0.12032	0.02807	0.08300	-0.04497	0.12110
VAR62	-0.04279	0.12455	0.02402	0.57334	0.12570	0.22330	0.01996	0.01734

図6. 第6因子における因子負荷量0.30以上の項目

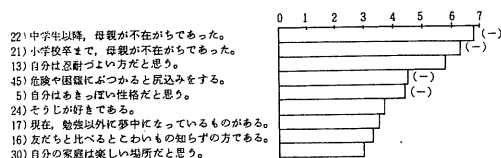


図7. 第7因子における因子負荷量0.30以上の項目

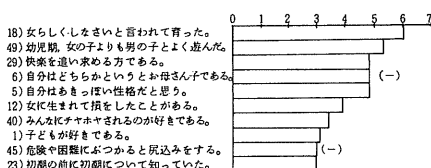
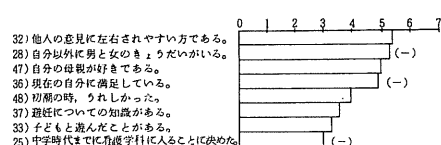


図8. 第8因子における因子負荷量0.30以上の項目



育った生育歴である。また、女性役割の否定、自己顕示的で勇気のある自己観、子供への興味、母性に関する知識等の項目も関係があった。(図7)

第8因子の因子負荷量の大きい項目は、依存的な自己観、男と女のきょうだいがいないという生育歴、満足ある母親像である。その他に自己否定的自己観、伝統的女性役割の受容、子供と遊んだことがある生育歴、中学時代に看護を志向していなかった等の項目も因子負荷量が大きかった。(図8)

3. 対象特性の各因子得点の平均値

母性意識に関与するものとして抽出された8因子の因子得点の平均値を対象特性別に求めた結果を図9～15に示した。

因子得点の平均値から見た共学の有無と各因子得点の平均値は、中学校・高校とも第2因子に有意差が認められ、他の因子では有意差が認められなかった。(図9, 10) 中学・高校ともに共学であった者の方が

図9. 中学時代の共学経験の有無

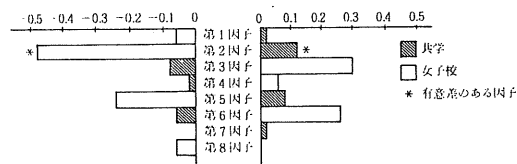


図10. 高校時代の共学経験の有無

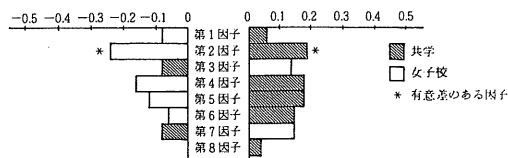
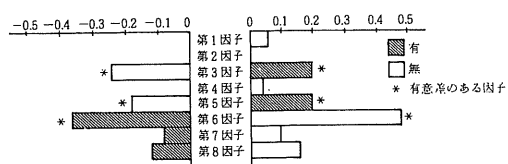


図11. 母親の職業の有無



女子校であった者より第2因子の因子得点平均値が高かった。

現在の母親の職業の有無と各因子得点の平均値には、第3, 5, 6, 因子に有意差が認められた。

(図11)すなわち、母親の職業のある者が第3, 5 因子の因子得点が高く、母親の職業のない者が第6因子で因子得点が高かった。

本人の兄弟姉妹の有無と各因子得点の平均値は図12～15に示した。兄の有無と各因子得点の平均値では、第4, 5 因子で有意差が認められた。(図12)

図12. 兄の有無

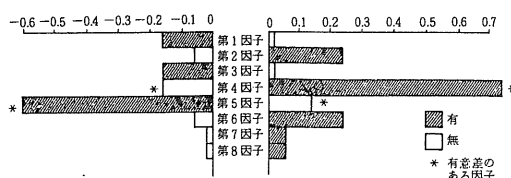
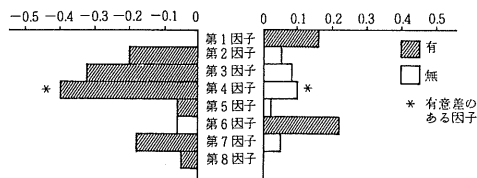


図13. 姉の有無



すなわち兄のある者は第4因子で因子得点が高く、兄のない者は第5因子で因子得点が高かった。姉の有無と各因子得点の平均値は第4因子のみで有意差が認められた。(図13)これは、姉のない者が第4因子の因子得点が高いことを意味する。弟の有無

図 14. 弟の有無

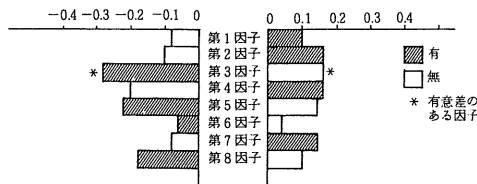
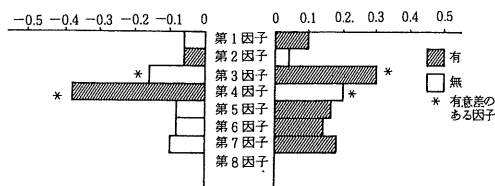


図 15. 妹の有無



と各因子得点の平均値では、第3因子のみで有意差が認められ、弟のない者が第3因子の因子得点が高い。(図14) 妹の有無と各因子得点の平均値は、第3、4因子で有意差が認められた。(図15)これは、妹のある者が第3因子の因子得点が高く、妹のない者が第4因子の因子得点が高いことを意味する。

IV. 考 察

1. 各因子の意味について

看護学を指向して勉学中の成熟期の未婚女性の母性意識に関与する因子として8つの因子が抽出された。まず、その各々の因子の意味を考察しよう。

第1因子は将来子供が欲しく、結婚したいと考え、生育歴に於て子供の世話をした経験があり、子供好き、女に生まれてよかったと思うなど、女性であることや女性役割を肯定することに関する因子と考えられる。

第2因子は高校時代に好きだった学科目として日本史、世界史、現代国語などの文系科目をあげ、現在気楽に相談にのる友人がいる。自分の家庭は楽しいと考えているなどから、文系指向で現在の生活を肯定することに関する因子と考えられる。

第3因子は高校時代に好きだった学科目として数学、物理、化学などの理系科目をあげ、現在勉強していることがおもしろい、看護学科に入ってよかった、一生仕事を続けたいと考えているなどから、理系指向で職業を持つことを望むことに関する因子と考えられる。

第4因子は伝統的女性役割を引き受けている項目

の因子負荷量が高く、男だけの兄弟の中で育っていることから、母親の影響力が大きい生育歴に関する因子と考えられる。なお、子供への関心については表3から、因子負荷量が低く、子供への関心は少ないと考えられる。

第5因子に関する項目は、おしゃれに時間をかける、恋人、ボーイフレンドがあり、避妊知識があり、一人っ子で母親が不在がちなわがままな性格ということから、快楽追求因子と考えられる。

第6因子に関する項目は、母親は不在でなく、忍耐強く危険や困難に尻込みしないという自己感を持つことから、母親や家庭を探索基地とした冒険的な性格という自己感と伝統的女性役割の受容を示すことに関する因子と考えられる。

第7因子に関する項目は、男っばく育ったという生育歴で伝統的女性役割を否定することから、男性らしさを指向することに関する因子と考えられる。

第8因子に関する項目は、子供と遊んだことがあるという生育歴を有するが、他人の意見に左右されやすく自分の母親が好きで現在の自分に満足していないということから、母親に依存している子供っぽい自己であると考えられ、幼児的性格を示す因子と考えられる。

次に、前述の8因子の意味づけを対象特性別の因子得点で有意差の認められたものについて考察しよう。

第2因子、すなわち文系指向で現在の生活を肯定することに関する因子は、中学・高校時代に共学経験を有するという対象特性を有している。これは、本研究の調査対象である看護大生の中で現在の生活に満足している者の背景は、文系に関心を持ち、中学、高校時代に共学であったということの意味している。

第3因子、すなわち理系指向で職業を持つことを望むことに関する因子は、現在母親が仕事をもち、弟がなく妹を持つという対象特性を有していた。このことから、母親が職業を持ち、姉役割を引き受ける生活の中で、職業を持つ母親をモデルとした自立的な性格が育てられたと考えられる。

第4因子、すなわち母親の影響力の大きい生育歴に関する因子は、本研究の対象では兄がいて姉妹がいないというきょうだい関係の中で形成されたと考えられる。

第5因子、すなわちわがままで快楽追求的性格因子は、現在母親が仕事をもち兄がいないという対象特性を有していた。母親が仕事をもちという同じ対象特性を有している第3因子の自立的性格傾向に比して第5因子の快楽追求的性格傾向は、中学校以前に母親が不在であり、兄がいないという環境の中で育ったという違いがある。このような環境の中で異性に依存する傾向を持つようになったために形成された性格傾向と考えられよう。

第6因子、すなわち母親、家庭を探索基地とした冒険的性格と伝統的女性役割の受容に関する因子は現在母親が仕事を持っていないという対象特性を有していた。これは、幼少期から現在に至るまで、母親が家庭に在るという安定した家庭環境の中で形成されたものと考えられる。

2. 各因子と母性意識について

母性意識に関する我々の規定と前述の8因子を照合してみよう。まず第1因子は女性が子供に対して持つ特殊な意識という母性意識の規定そのものを示していると考えられる。第2因子は、現在の生活に満足する、すなわち平井⁹⁾の述べる、「周囲の家族と暖やかな関係を体験」した結果を示すものと考えられる。つまり、第2因子は母性意識の形成に肯定的に作用する因子であろう。第3因子は、現在職業を持つ母親をモデルに母のようになろうとすることに因する因子である。すなわち、母親が職業を持つことは依存的な性格形成には作用せず、逆に母性意識の形成に肯定的に作用したといえよう。第4因子は、母親の影響力の大きい生育歴を持つ者が伝統的女性役割を引き受けてはいるものの、子供への関心は示さないという因子である。この点から、母性意識の低い因子と考えられる。第5因子は母親が幼少期に不在であったことが依存性を高め、兄がいないことから依存相手を異性に求めた結果を示す因子と思われる。つまり、平井⁹⁾の述べるように、幼少期の母親との関わり合いの不足が母性意識の形成に否定的な影響を及ぼした因子といえよう。一方第6因子は、母親との関わり合いが幼少期から現在に至るまで継続した結果、家庭を探索基地として自由な活動を示すことに因する因子である。つまり、母性意識の形成の点では是定的に作用した因子といえよう。第7因子は母親をモデルとする生育歴を持たない男性指

向型の性格形成に関する因子である。母性意識の低い因子と考えられよう。第8因子は母親との関わり合いは深い、健全な母子分離がされていない幼児的性格を示す因子である。やはり母性意識の低い因子と考えられる。

なお、抽出された8因子の累積寄与率は41%であった。このことから母性意識に関わる因子はこの8因子だけでは説明し尽すことはできず、他にも多くの因子があるといえよう。今後、抽出されなかった因子を探索していくとともに、上田が母性意識の形成は、妊娠、分娩、育児を経験することにより発達すると述べていることから、今回の対象である成熟期の未婚女性の他に、妊娠、分娩、育児を経験している女性へと対象を広げて母性意識に関わる因子の研究を進めていきたいと思う。

V. 結 論

1. 成熟期の未婚女性の母性意識に関与する因子を多変量解析によって分析した結果、次の8因子が抽出された。

- (1) 子供への積極的な関心を示し、女性役割を肯定することに因する因子。
- (2) 文系指向で現在の生活を肯定することに因する因子。
- (3) 理系指向で職業を持つことを望むことに因する因子。
- (4) 母親の影響力の大きい生育歴に関する因子。
- (5) 快楽追求的性格因子。
- (6) 母親、家庭を探索基地とした冒険的性格と伝統的女性役割の受容に関する因子。
- (7) 男性らしさを指向し女性役割を否定することに因する因子。
- (8) 母親に依存する幼児的性格因子。

2. 8因子の分析から、平井の述べるように、母性意識は生育歴ならびに現在における母親との関係が大きな影響を持つことが明らかになった。

VI. 謝 辞

調査に御協力下さいました聖路加看護大学の学生の皆様に感謝いたします。

VII. 文 献

- 1) Deutsch, H: 母親の心理 1 母性のきざし, 初版, 日本教文社 東京, 昭和39年, Pp.31 ~ 92。
- 2) Deutsch, H: 母親の心理 2 生命の誕生, 初版,

- 日本教文社, 東京, 昭和 39 年, Pp.61 ~ 62。
- 3) 平井信義編:母性愛の研究, 初版, 同文書院, 東京, 昭和 56 年。
- 4) 上田礼子:育児の出発点としての周産期, 2)母性意識の発達 周産期医学, 9(1)27 ~ 31, 1979。
- 5) 南部春生:母性意識の確立 周産期医学, 11 (9) 1241 ~ 1244, 1981。
- 6) 上田礼子:母性意識の確立 周産期医学, 11 (9) 1245 ~ 1247, 1981。
- 7) 柳井晴夫, 岩坪秀:複雑さに挑む科学, 第 1 版, 講談社, 東京, 昭和 56 年, Pp.95 ~ 100。
- 8) 大山正也:行動科学のための統計学, 初版, 朝倉書店, 東京, 1982。